

プラズマ・核融合学会誌

第93巻第4号

2017年4月

解 説	実験データの新しい解析方法 ー順列エントロピーと統計的複雑性を用いた時系列データ評価ー	恩地 拓己	163
小 特 集	キロテスラ級磁場で拓く新しいプラズマ科学 1. はじめに	藤岡 慎介	169
	2. 高出力レーザーで発生させた準静的強磁場の 荷電粒子ビームの伝播制御および高エネルギー密度科学への応用 SANTOS João Jorge, BAILLY-GRANDVAUX Mathieu, EHRET Michael, 藤岡 慎介, MORACE Alessio		170
	3. 宇宙 X 線の観測で見る天体の超強磁場現象	岩切 渉	177
	4. 強磁場下での電子ビーム不安定性による構造形成	田口 俊弘	182
	5. 慣性閉じ込め核融合への磁場応用	城崎 知至	188
	6. まとめ	三間 閑興	193
講 座	核融合炉からの熱の取り出し 1. はじめに	八木 重郎	196
	2. 熱機関の基礎	石山 新太郎	200
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			205
インフォメーション			206
	幅広いアプローチ活動だより(66)		
	【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar			209
本 会 記 事			211
	【こちら編集委員会です】		
	専門委員会応募に対する採択の結果／学会賞募集		
編 集 後 記			

表紙の絵

スパッタ蒸着 (SP) 法によるタングステン (W) 皮膜の (a) 表面および (b) 断面観察像, および真空プラズマ溶射 (VPS) 法による W 皮膜の (c) 表面および (d) 断面観察像。いずれも走査型電子顕微鏡 (SEM) によるもの。SP-W 皮膜では柱状の結晶粒が観測され、基板との境界が明確で、またポイド、クラックが観測されていない。VPS-W 皮膜の表面は非一様で、十分に溶解しなかった W 粒子 (溶射粒子の残骸) やポイド、クラックが観測された。これらポイドは、溶解が不十分な W 粒子近傍で観測された。(Yue XU *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.12, 1205009 (2017) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 3F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。